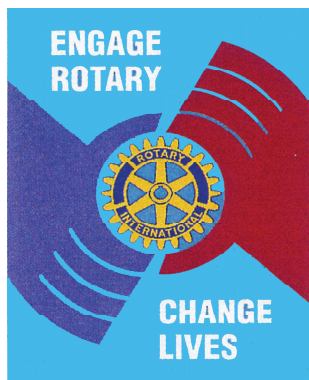




ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を



会長 箕輪 良孝 ・幹事 加藤 清久 ・会報 福岡 健
例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
事務局 尾張旭商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail: owariasahi@mte.biglobe.ne.jp URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

～磨いて 輝こう～

本日 第2107回 2014年6月6日(金) No. 1995

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「君が代」「奉仕の理想」

卓話担当者:親睦活動委員会

卓話者:唐井仁一親睦活動委員長

演題:「親睦活動委員会を振り返って」

前回 第2106回 2014年5月30日(金) 記 録

- 斉 唱:「我等の生業」
- 来訪者:日進市 市議会議員 舟橋よしえ様
- 出席者:会員26名中20名出席 出席率76.92%
前々回補正出席率 5月16日分 100%



△ゲストの舟橋よしえ様(左)と舟橋龍秀君

会長あいさつ 箕輪 良孝

大変暑くなりました。今日は5月30日「ゴミゼロ」の日です。ゴミを漢字にすると、塵または塵埃、芥(からし菜)「あくた」と言って小さいゴミを言います。ゴミとは、濁水にとけて混じっている泥、物の役にたたないもの、ちり、あくた、ほこり、またつまらないものと定義されています。



方々でこの日にちなんだ様々な奉仕の活動が展開されます。ゴミと言う字を「護美」と書いて美を護る当て字を使うことがあります。まず汚さないことであり、ゴミを作りださないことですが、昨今の社会状況ではゴミは多く出ます。

超高齢者社会になってきました。家庭内でも粗大ゴミのような存在の人間が増えてきます。こちらのゴミの処理は大きな今後の問題です。介護、年金、医療、等々いろんな施策を駆使して処理をしなければなりません。ゴミの処理にはお金がかかります。リサイクルをできるものはしています。人間もリサイクルできるとよいのですが。

さて、禅の世界に「放下着」という言葉があります。すべてはかかってしまえというような事ですが、人間様々な煩惱の中から、いろんなものに執着しがちです。これが心の塵(ゴミ)となって、心を病むのであります。こうした自分に着いているものをすべて取り払ってしまう事を示しています。こちらのゴミ処理にはお金がかかりません。

どちらにしても、ゴミをできるだけ出さない努力が必要です。

----- ロータリー親睦活動月間 -----

	6月13日(金)	6月21日(土)	6月27日(金)	7月 4日(金)
例会予定	卓話担当者:西尾 輝久 国際奉仕委員長 卓話者:舟橋 龍秀君 古橋エツ子君 演 題:「バナー交換について」	20日(金)振替 夜間例会 於 長久手温泉 「ござらっせ」	定款第6条第一節により 休会	卓話担当者:古橋 裕志 次年度会長 演 題:「会長所信表明」

幹事報告

- ・ 5/24 地区米山記念学友合同研修会 於リニア鉄道館 山田地区米山記念委員出席
- ・ 5/28 地区ロータリー財団全体会議 於名古屋クレストンホテル 加藤清久地区ロータリー財団委員出席
- ・ 本日の会合：第2回次年度OFDY委員会
第20回地区研修・協議会実行委員会
- ・ 次回の会合：第15回理事役員会
- ・ 例会変更のお知らせ：別紙

ニコボックス

○本日は家内の卓話です。よろしくお願いいたします。

舟橋 龍秀君

○舟橋よしえ様よくお越しいただきました。歓迎いたします。明日よりご主人をお借りします。おしどり会員になっていただくと嬉しいのですか？

箕輪 良孝君

○舟橋よしえ様、ようこそ、夫婦のひな壇、まぶしいです。

古橋 裕志君

○舟橋よしえ様、歓迎いたします。卓話を楽しみにしております。

加藤 清久君、唐井 仁一君、桜井 雅博君

西尾 輝久君、森井 晴生君、山田 直樹君

○シドニーへお発ちの皆様、親睦と友情の輪を広げ、そしてたくさんのお土産期待しています。

古橋 裕志君

○シドニーへ行って来ます、お土産を楽しみにして下さい。

加藤 清久君

○9泊11日で地中海クルーズに行ってきた。時差ボケがなおりません。

唐井 仁一君

○お忙しの君

江尻 豪君

第2回次年度OFDY委員会

日時 2014年5月30日(金) 13:35～

場所 尾張旭市商工会館 第四会議室

議題 1) 次年度の計画について

- ・ 9月、3月の月間に寄付の推進
- ・ 活動計画のおおまかな確認

2) その他の件

募集要項を作成する。

卓話

～福島への支援～愛知に住む私たちにできること～

日進市議会議員

舟橋よしえ



3年前の東日本大震災に続いて起きた福島第一原子力発電所の事故後、福島県内及びその周辺の地域で子育て中のお母さんと子どもたちを日進市に招く「保養活動」を2年前から実施しています。被災地へ出向いての活動ではなく、私たちが暮らす愛知に来ていただくことが福島への

支援となる点が保養活動の大きな特徴です。

私自身が保養活動を知ったのは、2012年4月に「NPO法人チェルノブイリへのかけはし」代表の野呂美加さんの講演会でした。その会場で、2011年夏から保養活動に取り組んでいる岐阜の団体「青空の下つながろう会」と出会い、日進でも取り組むためにどうすればよいかを考え、私も会員であった「日進まちづくりの会」をお願いをし、アジア保健研修所の協力もあって実現できました。これには、同僚の白井議員とともに二人で精力的に動いたことが大きかったと思いますが、多くの皆さんの協力があったからこそであることは言うまでもありません。日進で保養事業が実施できることに、大きな喜びと誇りを感じています。

一昨年の保養では、イベントを多く企画し忙しすぎたという反省から、昨年は「ゆったり・ほっこり」できるよう努めました。特に、食事は代謝機能や抗酸化力を高めるようなメニューとし、ボランティアとスタッフですべて作りました。宿泊施設の関係から福島から来ていただくのは6組の親子に限られ、日数も5泊6日しかないのですが、それでも参加いただいた皆さんから、「リフレッシュできた」「外でいっぱい遊べて楽しかった」「プール最高！」などの感想をいただくことができました。愛知に暮らす私が、福島のことを思う時には必ず保養で出会った子どもたち、お母さんの顔が浮かびます。それは、保養活動を通して「決して福島を忘れない」ことに繋がると思います。それが、福島で暮らし続ける皆さんを励まし続けることになると思うのです。

今年の夏も、7/26～7/31に昨年同様の保養を実施します。保養事業を行うためには、約120万円かかりますが、その財源は、個人・企業からの寄付金と震災復興と保養のために企画されたチョコボというチョコレート菓子の販売益で賄います。また、ボランティアは100名近く必要となります。是非、尾張旭ロータリークラブ様からのご協力を期待しておりますので、よろしくお願いいたします。



知っておくと役立つ用語

クラブ協議会：クラブのプログラムや活動について協議するための会合。クラブ全員が出席できる。

地区大会：毎年開かれ、クラブと地区の活動を紹介し、意欲と感動を与える大会。地区のすべてのロータリアンとその家族が出席できる。

インターアクト：年齢12～18歳の青少年による奉仕と親睦を目的としたクラブ。ロータリークラブの提唱によって設立される。

ポリオ・プラス：世界からポリオを撲滅することを目指すロータリー財団のプログラム。

ローターアクト：年齢18～30歳の青年による奉仕と親睦を目的としたクラブ。ロータリークラブの提唱によって設立される。

ロータリー地域社会共同隊(RCC)：ロータリアンではない人々から成るグループで、地域での奉仕活動に取り組む。ロータリークラブによる組織と提唱によって設立される。

ーロータリージャパンよりー

